

## 【総評】

### ◆評価機関総合コメント

- ・こどもデイケアいずみ（以下、園という）は、1979年設立の社会福祉法人三ヶ山学園（以下、法人という）を母体として2001年に開設され、今年24年目を迎えた。
- ・法人は、大阪府貝塚市の丘陵地の一面に本部、当園、児童養護施設「三ヶ山学園」、軽費老人ホーム（ケアハウス）、高齢者デイサービスセンターと診療所等を配置し、子どもから高齢者に至るまで一貫したサポートが可能で公益事業を含め地域発展に貢献している。
- ・法人設立者の座右の銘は「至誠通天」で、「誠実な心、そして謙虚な心で精進し、すべての利用者に心のこもった温もりのある支援をしてまいります」を法人の理念とし、設立者の想いは45年を経た今なお施設・事業所や職員に受け継がれている。
- ・園は、最寄駅から徒歩20分の丘陵地にあり、芝生の園庭と五つのオレンジ屋根が特徴の建物が夫々クラスの保育室となっている。近年周辺は、子育て世代の多い新しい魅力的な街として発展しているが、遺跡やみかん畑など自然が多く残る静かな地域でもある。
- ・子どもたちは、貝塚市・忠岡町・熊取町・泉大津市の近隣地域から、職員が添乗するバス2台に分乗し単独通園している。園の家庭的な雰囲気の中で職員が子ども一人ひとりの特性を活かし、誰もが持つ限らない可能性を求め、成長に寄り添う療育が行われている。バスから降りてくる子どもたちの輝いた顔、園庭で走り回る姿、音楽で始まり手拍子やチャイムで終わる夫々の活動、待ち遠しくお代わりも多い昼食風景など、子どもたちが楽しく過ごすのを傍で優しく見守り支える職員の姿に感動を感じる園である。
- ・園内には、築24年の建物でありながらよく整備された設備や創意工夫を活かした遊具類が備わり、経験豊かな多くの職員（センター長、施設長、主任児童指導員、保育士等）が併設の診療所医師・訓練士・看護師・心理士や栄養士など多職種の連携による個々の子どもに合った健康管理とバランスのとれた療育が行われている。
- ・園の目下の悩みは、子どもへの手厚い支援に必要な職員確保と福祉事業であるにも拘わらず限られた収入とのギャップに腐心しており、バス買替にもクラウドファンディングの活用等を検討せざるを得ない状況など苦心は尽きない。

### ◆特に評価の高い点

- ・クラス別の各部屋を連結する南に面する園庭と、玄関に繋がる行き届いた広々としたホールは子ども達の解放感に繋がり、設備の整備や保育室内の職員の創意工夫による子ども達に優しく使い勝手の良さがある。
- ・朝いちばんにバスから降りてくる笑顔の子ども達を、クラスまで誘導する手際よさ等、どの子も伸びるという支援姿勢がうかがえる。それぞれの限らない可能性を求め、一人ひとりの成長を見守る職員相互が連携した献身的な働きが見られる。子どもや保護者の満足度が、子ども達の表情や保護者アンケートの回答からも良く窺える。
- ・法人内の診療所では理学療法・作業療法・言語聴覚療法を実施している。子どもの成長や体幹に合わせた椅子の補正や、机と椅子のバランス、昼食時の子どもの食具の使い勝手などを見極め最善の状態を作っている。身近な訓練機関として密な連携や敷地内建物の有機的な配置など、子どもを第一に考えた療育の現場の素晴らしさが窺えた。

#### ◆改善を求められる点

・管理・運営面等での改善が求められる点として、① 中長期計画に、日付（年度）の設定、② 人事制度に職員個々の目標管理の設定、③期待する職員像の明確化の3点があげられる。

・子ども達への支援体制は職員に理解され保護者等の評判も良いが、支援方法の規約やマニュアルを園の標準的な実施方法としてまとめること及び定期的な見直しを望む。

#### ◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

こどもデイケアいずみは、開設当初から「どの子ども伸びるという観点のもとに、個々の特性を活かし、それぞれに持つ限りない可能性を追求して、一人ひとりの成長に寄与すること」という目的で24年あまり子どもたちへの支援を続けてきました。

今回第三者評価を受けたことで、施設内だけでは気づきにくいことを違った視点でご指摘いただいたことで、良い点や改善すべき点が明確になりました。

その中で、子どもたちへの取組みについては、我々が日々行っている支援が評価されていると実感できました。

今後改善すべき点として、職員一人ひとりの目標設定や育成に向けた取組みが十分でない部分がありました。我々はそれを真摯に受け止め、職員全員で改善していき、さらなる意識の向上を図ることで、より良い支援を子どもたちや保護者の方に提供できるよう努めていきます。

#### ◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照